



NEWS RELEASE

2020年2月28日
株式会社テレビ北海道
北海道総合通信網株式会社

テレビ北海道と北海道総合通信網が プライベートクラウド上での4K・2K編集などに関する実証実験を開始

株式会社テレビ北海道（本社：北海道札幌市 代表者：代表取締役社長 松井 正憲 以下、TVh）と北海道総合通信網株式会社（本社：北海道札幌市 代表者：取締役社長 林 宏行 以下、HOTnet）が共同でプライベートクラウド上での4K・2K※1編集等に関する実証実験を開始しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 背景

放送局においてコンテンツの多様化への対応を行うために、高速かつ大容量の放送番組システムを効率的に確保しなければならない状況となっています。

2. 概要・特長

本実証実験では、HOTnet の「S.T.E.P 札幌データセンター※2」内のプライベートクラウドサービスの仮想マシンにTVhの編集機ソフトを構築し、セキュリティが確保された高速かつ低遅延なイーサネット回線を用いてTVh本社等からリモートデスクトップで接続及び編集作業を行います。コンテンツや作業内容の種別に応じて仮想マシンの仮想リソース（CPU、メモリー、ストレージ）を柔軟に変更させて物理リソースを効率的に利用できる放送番組制作システムを実証します。

3. 今後の展開

TVh、HOTnet は本実証実験の結果からプライベートクラウドを活用した放送番組制作システムの構築に取り組んでまいります。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社テレビ北海道
技術局技術企画部
TEL 011-232-1122

北海道総合通信網株式会社
営業ソリューション第一部公共営業G
TEL 011-590-5340

※1 4K・2K

4Kは、横3,840画素×縦2,160画素の画面解像度のことです。2Kは、横1,920画素×縦1,080画素の画面解像度のことでフルハイビジョンとも呼ばれます。4Kは2Kの4倍の画面解像度を持つこととなります。

※2 S.T.E.P札幌データセンター

<https://www.hotnet.co.jp/datacenter/>

自然災害の被害を受ける可能性が低い札幌市に立地しており、首都圏災害発生時の同時被災リスクを低減することが可能です。また、交通の便がよく、アクセスし易い都市型データセンターのメリットを併せ持っています。免震構造を備えた建物や、複数の通信キャリア・経路による冗長化した通信回線、異なる変電所からの2系統受電、72時間無給油連続運転可能な自家発電機などを完備し、万が一の災害時に備えています。

<株式会社テレビ北海道について>

テレビ北海道（TVh）は1989年10月、道内で5番目の民放テレビ局として誕生しました。チャンネルは「7」、テレビ東京ネットワークの一員で、日本で一番東にある地上波民放テレビ局です。

皆様の暮らしと心に寄り添うテレビ局を目指して、放送通信融合時代のローカルテレビ局として新しいビジネスモデルを構築していきます。

株式会社テレビ北海道 Web サイト：<https://www.tv-hokkaido.co.jp/>

<北海道総合通信網株式会社について>

北海道総合通信網（HOTnet）は北海道の情報通信サービス会社として1989年4月に設立されました。自らの光ファイバネットワークを基盤に高品質な企業ネットワークインフラからシステム構築・運用までトータルなネットワークソリューションを提供いたしております。

2017年9月にはS.T.E.P札幌データセンターを開業し、通信事業者としてのノウハウや強みを活かして、自社・他社を問わず、各種のクラウドサービスなどと、お預かりしたお客様のITシステムとを連携させることが可能な環境を提供いたします。

北海道総合通信網株式会社 Web サイト：<https://www.hotnet.co.jp/>